

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にまちの元気情報を発信



vol 3

町では“自然の恵み野わっさむ町”の情報を札幌市民に向け発信し、交流人口の拡大と将来の移住・定住人口の拡大を目的として今年4月から札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送を開始しました。「月刊わっさむ」は毎月第4火曜日午後1時～1時30分（30分間）で放送され、放送された内容について広報誌でお知らせします。

◆札幌三角山放送局って？

- ①三角山放送局とは・・・平成10年4月に札幌市内で3番目に開局し地域に密着したラジオ局です。
- ②放送地域は・・・・・・札幌市西区及び周辺地域（西区4/1現在人口：211,286人、世帯数：96,752世帯）
- ③放送を聴くには・・・和寒ではインターネットにより視聴できます。【三角山放送局で検索し、インターネット放送視聴又は放送スタジオよりライブ配信がされています】
札幌で聴くには周波数：FM 76.2MHz

■「月刊わっさむ」第5回放送 川江JA北ひびき副組合長がゲスト出演

8月23日(火)第5回放送では、ゲストとして川江和男JA北ひびき副組合長、村岡裕一町産業振興課係長が出演しました。

この回の放送では、8月1日～31日までの期間ホテルオークラ札幌のレストランで開催された「和寒フェア」を紹介しました。このフェアでは和寒産の野菜を存分に使ったランチとディナーメニューが用意されておりラジオを聴いているリスナーのかたにぜひ食べてくださいとPRしました。また、この時期和寒から出荷される「旬の夏野菜」について川江副組合長が説明し、札幌のスーパーで和寒産を見つけた時は「迷わず購入」と札幌市民に宣伝していました。



■「月刊わっさむ」第6回放送 荒井パンプキンフェスティバル実行委員長がゲスト出演



9月27日(火)第6回放送では、ゲストとして10月9日に開催される「パンプキンフェスティバル」実行委員会荒井敏一実行委員長、JA北ひびき和寒基幹支所岡政洋販売課長が出演しました。

この回では、南瓜作付面積日本一の町で南瓜をテーマとしたイベント「パンプキンフェスティバル」を紹介し、秋の味覚を和寒町で楽しみませんかと札幌市民に伝えていました。

また、荒井さんからは、生産者が教える「おいしい南瓜料理」について話され、「半分に切った南瓜にとろけるチーズをのせ、軽く塩コショウで味付けした後、レンジでチン」簡単で南瓜そのものの味を充分堪能できるレシピをリスナーに紹介していました。

★ 南瓜収穫体験ツアーを実施 ★

9月17日(土)、和寒町グリーンツーリズムネットワーク協議会(中原浩一会長)主催による「南瓜収穫体験ツアー」が開催されました。このイベントには、三角山放送局を通じて募集された札幌西区を中心とする28名のかたが参加し、参加者は、はじめての南瓜収穫に戸惑いながらも楽しく作業に取り組んでいました。また、昼食では、和寒産の米、人参、じゃがいも、玉ねぎを使用した「和寒100%カレーライス」を食べ、午後からはランタン製作や町内施設を見学し、和寒町で「収穫の秋」の1日を楽しみました。



■番組のお問い合わせは役場総務課まちづくり推進係 (TEL32-2421) まで